

令和4(2022)年度総合型選抜【11月6日(土)-7日(日)実施】の、「講義の聴講及び講義に関する課題レポート」について、2分野から各1題を出題しました。各課題のタイトルおよび出題意図は以下の通りです。

1.『農業生産と生物多様性』

20世紀後半以降、人間活動の急激な加速に伴って地球規模で生物多様性が減少し、農業の持続可能性が脅かされている。本講義では「生物多様性の保全と農業生産の両立」の問題意識を背景に、日本の稲作農業の変遷と生物多様性への影響、および生物多様性に配慮した生産技術について解説した。課題レポートでは、水田生態系の特徴、戦後の稲作農業の変遷と生物多様性への影響、環境配慮型稲作技術について講義内容の要約を求めた。加えて、生物多様性の保全と稲作の両立に向けた研究と実践の展望について論じることを求めた。これらにより、課題分析力、論理的思考力、論述力等を評価した。

2.『医療と情報』

昨今、ICT技術の進展もあって医療にまつわる様々な情報を市民一人一人が手軽にかつ容易に入手できるようになってきている。本講義では「医療と情報」と題して、医療にまつわる相対的リスクと絶対的リスクの差異、検診結果を統計的に読み解く際の注意点、情報処理の違いがもたらす影響について解説した。課題レポートでは、第一に提示された情報を正しく処理してその結果を読み取り、第二にそれら情報処理をもとに現在喫緊の課題となっているCOVID-19の検診にかかる懸念事項について検討し、第三に医療情報に関する正しい理解(リテラシー)の欠如がもたらす問題とその解決に向けた方策について論じることを求めた。これらを通じて、情報処理能力、論理的思考力、社会課題への関心、論述力等について評価した。